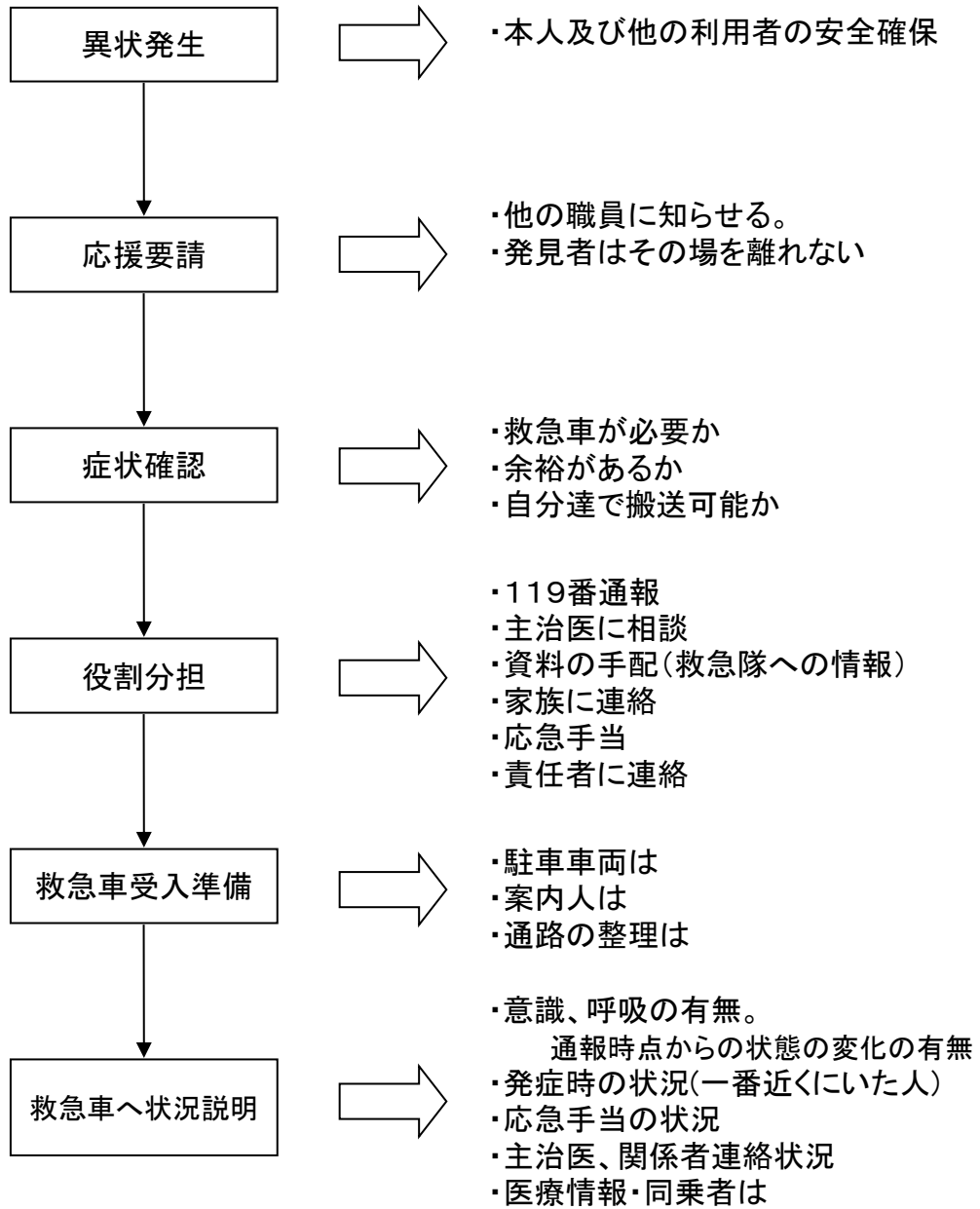


## 緊急時対応マニュアル



・救急搬送時の持ち物…保険証、現金、携帯電話、靴、上着、メモをとれるもの等

状況別注意事項

状況	注意事項
転倒	骨折や打撲の可能性がある <ul style="list-style-type: none"> <li>・打撲部位の確認</li> <li>・発赤、腫張、痛み、局部の変形の確認</li> <li>・捻挫の場合は副木を当て、包帯や絆創膏で固定する</li> </ul>
外傷	出血の有無を確認し、出血があれば止血 <ul style="list-style-type: none"> <li>・直接接触せず、できれば手袋をした上で、ガーゼや清潔な布を当てて押さえます(圧迫し過ぎないように注意)</li> </ul>
誤嚥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・背中を叩いて嘔吐させる</li> <li>・口腔内にガーゼを巻いた指を入れて嘔吐させる</li> <li>・横向きにして安静にする</li> </ul>
食あたり	嘔吐・下痢が共通症状 とにかく、早く嘔吐させること
嘔吐	別紙【おう吐物の処理】参照
脳貧血	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風通しの良い静かな場所に、足下を高くて寝かせる</li> <li>・意識がない場合には横向きに寝かせ、気道を確保する</li> <li>・医師や看護婦に連絡、あるいは救急車を呼ぶ</li> </ul>
鼻血	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーゼ、または柔らかいティッシュ等で止血</li> <li>・上体を45度程度に保つか頭を高くして寝かせ、1時間ほど安静にする</li> </ul>
のぼせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴槽中の場合は水栓を抜き、呼吸・気道を確保した上で引き上げる</li> <li>・体が冷えないように水滴を拭き、バスタオル等で保温する</li> <li>・意識がない場合には横向きに寝かせ、気道を確保する</li> <li>・医師や看護婦に連絡、あるいは救急車を呼ぶ</li> <li>・意識を確認しても、医師や看護婦に確認して貰うまで水分は摂取させない</li> </ul>
めまい しびれ 動悸 冷や汗 胸痛等	とにかく安静にして、医師や看護婦に連絡、あるいは救急車を呼ぶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・意識がある場合には、まめに声をかけ、不安をやわらげる</li> <li>・尿や便に変化はないか確認</li> <li>・湯たんぽ・暖房など使用の場合は離す</li> <li>・氷枕使用の場合は直接肌に触れないよう配慮</li> </ul>
褥瘡 (床擦れ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養状態を改善する</li> <li>・こまめに体位交換を行う</li> <li>・入浴や清拭を頻繁に行い、清潔を保持する。その際、皮膚の状態をよく観察する</li> <li>・摩擦防止のため、シーツや寝巻きのしわをのばす</li> </ul>